

## 投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 尾和田川	養父郡関宮町大谷		約 2.4
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父郡 関宮町 大谷				H13年度	H16年度

事業目的	事業内容
<p>土石流災害対策</p> <p>・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域住民の人命・財産及び小学校を保全する。</p>	<p>・ダム工 1基 (H=12.0m, L=34m)</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心	<p>・尾和田川は土石流危険渓流である。</p> <p>・流域状況は荒廃が著しいが、砂防設備は未整備である。</p> <p>・保全対象：人家＝2戸、公共施設＝大谷小学校、国道9号、町道</p> <p>・平成10年7月の集中豪雨によって小学校の後背地に土砂流出が発生しており、今後も土砂災害の危険性が高い。</p> <p>・生活道路である国道・町道が被災すると一時的に地域が分断される。</p>
地域の活性化	<p>・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され下流域の有効な土地利用が図れるようになる。</p>
快適性・ゆとり	<p>・ダムの設置により土砂災害を止め、良好な学習環境を保全する。</p>
その他	<p>・地元からの事業化への要望が強い。</p> <p>・過疎対策法対象町、山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当し、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。</p>
(2)有効性・効率性 有効性	<p>・人命及び財産(人家2戸)の他、大谷小学校と生徒達の生命が保全されるので事業実施による投資効果は大きい。</p>
効率性	<p>・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。</p>
(3)環境適合性	<p>・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。</p>
(4)優先性	<p>・土石流の被害想定区域には人家の他、小学校がある。平成10年7月の豪雨により土砂流出が発生していることから、土砂災害の危険性が高い。</p> <p>・関宮町では高齢者率が3割に近く、小学校及び児童を守ることは今後の少子高齢化社会への対応としても有意であり、早急な対策が必要である。</p>

評価の結果	着手妥当	左	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	---	----------------------